

Ⅲ. 狙い(開発するパッケージ)

■ 現状の課題解決

1. 既存システムのカスタマイズ版の見直し → 本来の業務のあり様から設計・開発
2. 業種・分野 → 多くの分野に対応
3. 品質 → 統合などカスタマイズによるリスクの防止(最小限の開発)
4. 統合化による発生する矛盾・時点など問題・課題の解決 → 多くの機能を纏めた総合化
5. 人材育成(業務) → 自然にスキルアップできる仕掛け
6. 管理機能の充実 → 自然に・容易にチェックできる機能(リスク・グレーゾーン)

■ ユーザ

1. 検討時・導入後の差のないシステム化 → 内容・コスト・品質・納期など
2. トップ・ニーズの対応 → 省力化・管理向上・平準化の達成、経営支援機能

■ ベンダー

1. 開発リスクを最小限化 → カスタマイズ人日、不具合の皆無化
2. 実施後の対応(サポート) → 最小限のサポート体制、人的負荷